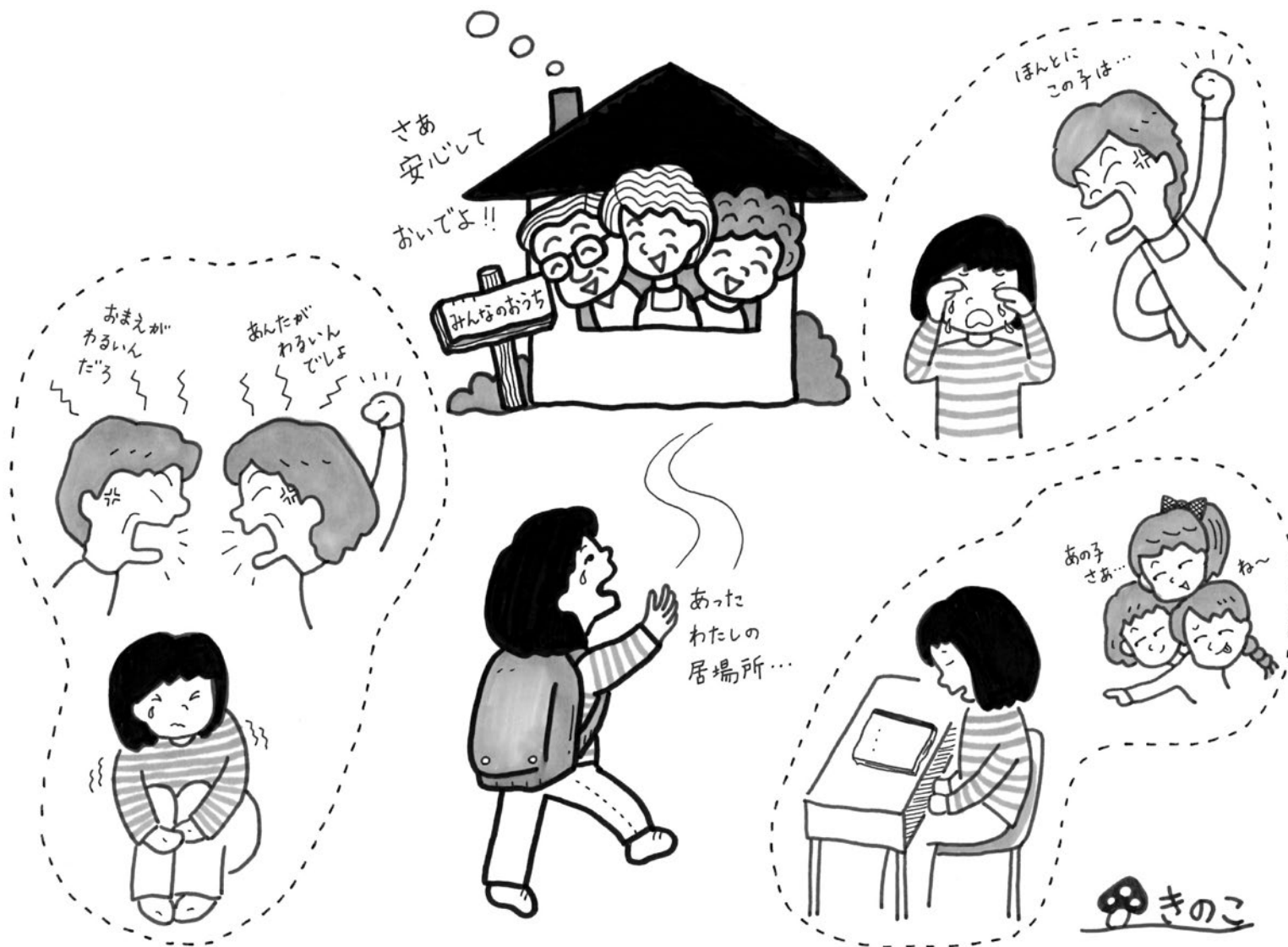


杜の伝言板  
ゆるる  
月刊



- 「ここだけは自分でいられる場所」を作りたい ~子どもの居場所事情in気仙沼~
- 地域の学校で共に学び、共に育つ 共育を考える会の30年 共育を考える会
- 高校生の夏ボラ体験も15年目に。今年もやりますよ~!

みやぎNPOプラザからのお知らせ

新入居団体紹介 NPO法人東北の造形作家を支援する会~あらたな始まり~

杜の伝言板ゆるる  
ホームページ



# 「ここだけは自分でいられる場所」 を作りたい

## ～子どもの居場所事情 in 気仙沼～



気仙沼市は東日本大震災で大きな被害を受けた地域の一つ。震災から六年以上が経った現在、そこにはどのような課題が見えてきているのか。今回は、「遊び場づくり」「不登校・引きこもり支援」と、活動テーマは異なるもの、ともに子どもの居場所づくりに取り組んでいる一般社団法人プレーワーカーズとフリースペースつなぎの二団体の活動を紹介します。

### 一般社団法人プレーワーカーズ

一般社団法人プレーワーカーズは、二〇一六年に設立された団体で、その前身はNPO法人日本冒險遊び場づくり協会が東日本震災の復興支援のために立ち上げた東北オフィスです。

プレーワーカーズの理事・事務局長を担う神林俊一さんは、東北オフィス時代から、気仙沼本吉地区の遊び場（現在はあそびーばーの会という住民組織が運営）作りの責任者として、気仙沼の子どもたちと関わってきました。

現在はプレーワーカーズが今年から始める新規事業として、屋内型冒険遊び場「こどもまど」の立ち上げ、運営に携わっています。「こどもまど」は四月末から試験的に運

営を開始し、五月二十七日（土）に正式にオープンしました。

### こどもまどが必要なわけ

従来、プレーワーカーズは屋外型の遊び場提供を主な活動としており、依頼に応じて出張するというのが活動の基本形です。そのなかで各地の子どもたちと接する機会があるのですが、これまでは子どもたちと『一期一会』の関係性しか作れずにいました。「子どもたちが何らかのサインを発しているも、その後のアフターフォローができず、もやもやしていた」と神林さんは言います。

「子どもたちが自分の足で、来たいときに来られる、そんな場所が必要」という思いを具体化させたのが、この「こどもまど」です。

「こどもまど」は毎週水・金曜の十五時から二十時まで、主に地域の子どもたち、子育て中の母子を対象に開放しています。日中はお母さんたちが集い悩みを共有したり、おしゃべりしたりする子育て支援拠点の役割を、放課後は子どもたちの居場所の役割を持ちます。この夜二十時までという開館時間には、地域性に配慮したこだわりがあります。



「こどもまど」にて、プレーワーカーズ神林さん（左）と遠藤さん（左）、フリースペースつなぎ中村さん（中）

子どもが放課後に一人で過ごさなくてはならない家庭と、家計が苦しいために共働きをしている家庭やひとり親世帯はしばしば重なります。子どもをどこかに預けて働きに出ている親としては、少しでも長く働いて収入を得たいのですが、気仙沼市内には夜まで子どもを預かってくれるサービスがあまりありません。

「こどもまど」を二十時まで開けることで、そういった家庭の子どもたちの受け皿となれば、と考えています。

### 子どものサインを見逃さない

また、気仙沼では、父親と母親の国籍が異なる「ダブルルーツ」や

就労機会の少なさとといった社会課題を背景に、二十代になっても職に就けなかったり、コミュニティに馴染めなかったりという若者も増えています。

現在、「こどもまど」に集まってくる子ども・若者の中には、将来を悲観し「生きているのが辛い」とこぼす子もいます。「こどもまど」はそういった社会的な居場所を持たない子ども・若者にとっても、「ここにだけは居場所がある」と思ってもらえる場所を目指します。

「遊び場や居場所を運営している中で、『こどもまど』でしか出せない子どもたちの本音を見逃さず、必要な支援につなげていきたい」と神林さん。拠点があることを活かし、地域の社会福祉協議会や児童相談所、他のNPOなどと連携を取っていきこうとしています。

### フリースペースつなぎ

フリースペースつなぎ(以下、つなぎ)は、気仙沼市で二十年以上活動してきた親の会「気仙沼

#### 子どもの居場所・遊び場「こどもまど」 (運営：一般社団法人プレーワーカース)

〒988-0085 気仙沼市三日町1-3-13  
●TEL：080-3336-2011  
●URL：http://kodomado.hatenablog.com

不登校を考える会」と、震災直後の緊急物資支援を目的に一関・気仙沼の市民有志が立ち上げた「つなぎの会」をベースとして、二〇一三年に設立された団体です。主に気仙沼地域の不登校・引きこもり支援を目的として活動しています。

### ●●● 二重三重のしんどさ

気仙沼市における不登校・引きこもりの状況について、現在代表を務める中村みちよさんは「もちろん、震災前も不登校・引きこもりの子どもたちは辛い思いを抱えていたと思います。そこに震災が起きたことで、今の子どもたちは二重三重にしんどさを感じています」と言います。

気仙沼の子どもたちの場合は、引きこもるに至った根本的な辛さ、悩みに加え、津波で肉親を失っていたり、経済的に困窮していたりと震災に起因する別の困難を同時に抱えることが多いのです。

中村さんは、そういった子どもたちにまず必要なこととして、「居場所」の存在を挙げています。中村さんが言う居場所とは、物理的な場所だけではなく、何かがあったらいつでも相談できる安心感を

伴う関係性までを含んだものを指しています。

### ●●● 大切なのは自己肯定

現在のつなぎには、小学生から二十代後半まで十名弱の子ども・若者が集まっています。活動プログラムとしては週に三日、就労体験や芸術活動、農作業などを行っています。中村さんの自宅を中心に、協力団体・商店などが活動場所となります。その子の長所を伸ばすことで、自己肯定感を高めるというのが、つなぎの特徴です。

今年四月からは新たな活動として、地域食堂「虹色ひろば」を始めました。これは気仙沼市古町地区の住民を対象に、食事や手芸教室などを通して住民同士のふれあいの場を作る取り組みです。そこに

つなぎを利用する若者たちがその献立を考えたり、料理をしたりという形で運営に関わることで、誰

かの役に立つ実感を通して自己肯定感を育んでいます。

六月三日(土)には、先に紹介したプレーワーカースが運営する「こどもまど」を会場に、「虹色ひろば」が開催されます。

もう一つ、つなぎがその活動の中でこだわっていることに、親のサポートがあります。

子どもが引きこもってしまうことで、親が気を病み、そのことがさらに子どもにも悪影響を与えるという悪循環が生じやすく、引きこもりや不登校といった問題の解決は、子ども本人へのケアだけではどうにもならないケースがままあります。

つなぎでは、月一回親の会を開催することで、行き場のない親の不安・悩みを共有し、相談できるようにしています。

これからのつなぎの課題は、子どもたちの次のステップを考えること。引きこもり経験のある子ども・若者の視点で親身に対応できる就労支援の場が気仙沼にはまだまだ少ないと中村さんは感じています。

#### フリースペースつなぎ

〒988-0183 気仙沼市赤岩泥の木17  
●TEL：090-2360-1075  
●E-mail：space.tsunagi@gmail.com



▶虹色ひろばで食事を作る子どもたち

# 地域の学校で共に学び、共に育つ 共育を考える会の30年



共育を考える会

飯嶋 茂

## 障がいのある子も地域の 学校で共に学びたい

共育を考える会は、障がいがあっても地域の普通学校で学びたいという願いのもと活動しています。同年代の多くの友だちと一緒に生活し、成長していくこと。それが誰にとっても当たり前のことであり、大切なことと考えるからです。

会を結成したのは一九八六年。当時は、障がいがある子が、普通学級で学ぶことはほとんど認められませんでした。なぜ、近くの学校へ行けないの？ 兄弟姉妹と一緒にの学校へ行けないの？ 学校も教育委員会も周りの方々にも大きな壁がありました。多くの困難に直面しながらも、それでもたくさんの方が、地域の学校で共に学び、共に育ってきました。

「多くの人に私たちの思いを届けたい」と毎月のように例会を行い、会報も発行してきました。講演会や学習会を企画しました。また、仙台市教育委員会・宮城県教育委員会とも幾度もなく話し合いを行いました。

仙台市教育委員会とは特に就学時健康診断を巡って何年にもわたり話し合いを重ねました。就学時

健康診断は小学校へ入学する前の秋にあり、一日入学として考えられています。しかし、障がいのある子どもを振り分ける側面もあります。象徴的だったのは知能テストもあつたことです。また、相談ではなく、養護学校(今でいう特別支援学校)へ行くように指示されることも多々ありました。

その話し合いの中で、就学時健康診断の際の知能テストをなくすることができました。また、就学に際しては親子の希望を最終的には尊重すること、仙台市教育委員会と就学指導委員会は、保護者の意向に反した就学先の強制はしないことを確認しました。仙台市政だよりに掲載される就学時健康診断のお知らせには、その説明のなかで「保護者の意向を尊重しながら」という一文が入っています。当時の話し合いの結果入ることになった説明書きです。

そうした活動の結果、今では、地域の学校を選択することもひとつの道として認められるようになりました。

## まだまだ多くの課題が

会の結成時より行ってきたものに、市民による就学相談会があり

ます。地域の学校へ就学するにあたっての不安を持たれている方や教育委員会による就学相談に納得されない方などからの相談が寄せられます。

地域の学校を選択することもひとつの道として認められていると言っても、多くの方がそれを理解しているわけではありません。国全体の方針としても障がいのある子が普通学級で学ぶことが基本とされているわけではありません。

ですから、受け入れる学校により対応に差があります。学校側が親子の思いにきちんと耳を傾けてくればいいのですが、特別支援学校へ行くべきという考えを押し付けてくる場合もまだまだあります。障がいの軽い重いではなく、受け入れる側の気持ちで大きく状況は変わります。

就学に際し付き添いを条件に求められることもあります。通学の時から、行事の際には付き添わなければいけないという対応をされることもあります。周りの方から理解されないこともありまます。普通学校へ通っている皆さんは日々の出来事に一喜一憂しながら通っているのです。

もう一つ大きな課題は高校です。小・中学校と地域の学校で学んだ

子が、高校もみんなと一緒に学びたいと願うことは当然です。しかし、入試という壁がある今、特に知的なハンディがある人にとって、高校は行きたくとも行けない場所になっていきます。

二年にわたり高校受験に挑戦した知的障がい生徒がいました。しかし、その高校は定員四十人に對し十四人の受験生で定員割れしているにもかかわらず、不合格としました。障がいを理由とした差別に他なりませんでした。

### ●●● 地域の中で育ってきたからこそ ●●●

先日石巻の会員のIさんより娘のTさんが成人式を迎えたことによりが届きました。Tさんは重度重複障がいに加え、経管栄養と痰の吸引などの「医療的ケア」が必要です。それでも地域の小学校・中学校へ通いました。もちろん平坦な道のみではありませんでしたが、友だちと成長するTさんの姿は私たちにとっても励まされるものでした。

成人式の写真には小中と共に学び育った仲間たちとの再会を喜び合う楽しそうなTさんの姿がありました。地域の中で育ってきたからこそのもので。

◀ Tさんの成人式の様子



三十年を節目として今年はいくつかの企画を行います。

一つ目は、山田真さんの講演会。六月十八日(日)十三時半〜十六時仙台市市民会館で行います。山田真さんには、会の結成集会の際にも講演していただきました。その当時、山田さんはすでに障がい児・者が地域で生きることができるよう活動されていきました。障がいのあるお子さんの親でもあり小児科医でもあります。お子さんは、地域の小中学校で学び、高校へも通い、現在はヘルパーを利用して一人暮らしをしています。あらためて山田さんのお話を伺いながら、障がいのある人も地域で共に生きる教育と社会の実現に向け、皆さんと共に考えたいと思います。

二つ目は、「風は生きよ」という映画の上映会です。人工呼吸器を使用しながら地域で生活している方の日常を描いた

作品です。こちらは障がいの自立生活支援センター「C-1」たすけつ」との共催です。

七月二十二日(土)エルパーク仙台ギャラリーホール。十四時と十八時の二回上映。十五時半からは出演者の海老原さんと監督の穴戸さんと地元の障がい当事者の方をまじえてトークショーも予定しています。

昨年七月に相模原市の「津久井やまゆり園」で十九人が殺され、二十六人が重傷を負わされるといふ事件が起きました。地域で生きるどころか障がいの存在すら否定する大きな事件に、私たちも大きな衝撃を受けました。その事件から一年後のこの時期に映画を上映することで、改めて障がい者が地域で生きることを訴えたいと思っています。

三つ目は、九月三十日に、「先輩」障がい者家族のお話を聞く会も行う予定です。子どもさんと共に生

きてきたこれまでの歩みと、その中で考えられてきたことをじっくりお聞きしたいと思います。

現在の共育を考える会の活動は、決して活発とはいえないのが現状です。会の活動が月日を重ねるにつけ、中心となっていた子どもたちも大人になり、活動から離れることもありま。会の目的である普通学校への道筋がつけられたことを区切りとして、活動をやめてもいいのではと思つた時もありま。それでも色々な相談がよせられると細々ながらもまだまだ活動を続けて行かなくてはと思います。

障がいがあつても地域の中で生活することは、当たり前前の権利です。それは大人になつてからのことではありません。子どもの時からこそ地域の中で育つことが大切なのです。学校は子どもにとつては同年代の友だちと生活できる大切な場所。障がいのある子どもも含め、誰もが共に学び、育ちあえる場所であつて欲しいと願っています。



▶ 7月に開催される上映会のチラシ

**共育を考える会**

〒983-083 仙台市宮城野区松岡町17-1 コッペ内

●TEL/FAX : 022-299-1279 (担当: 飯嶋)

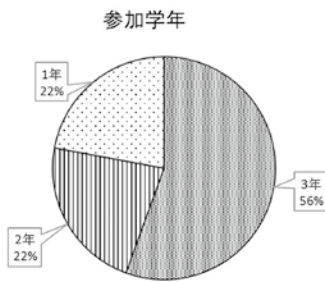
# 高校生の夏ボラ体験も15年目に。 今年もやりますよ～!

高校を卒業して、社会人になっても、地域に関心を持ってほしい！何か地域の活動に参加してほしい！と、地域の課題に取組むNPOとの出会いを始めて今年で十五年になりました。これまでに一七七六人の高校生がNPOでボランティア体験をしました。

二〇〇三年の第一回夏ボラ体験は、募集人数五十人に対し、五十五人の高校生がボランティア体験をしています。男女の比率は、ほぼ同数。事前学習会は、かなり力を入れて朝十時から午後三時までのほぼ一日でした。この時参加した高校三年生の二十二人は、今年で三十二歳。県内で暮らしているでしょうか。何か地域の活動に関わっているでしょうか。いろいろ気になります。

## 参加学年は三年生が多い

これまで参加した高校生の学年別を見ると、  
図①のよう  
に半数  
を超える  
五十六%  
が三年生  
です。



▲図① 学年別の参加割合

▲図① 学年別の参加割合  
昨年のボランティア内容を活動分野別で見ると、図②の通り、子ども支援、障がい児・者支援、高齢者福祉の順でした。  
体験が終了すると「ボランティア体験談」を書いてもらいます。そこには高校生のたくさんの気づきがいっぱいです。その中にはこ

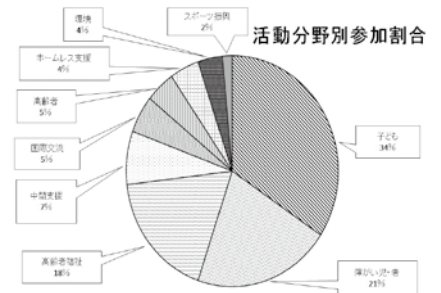
## やっぱり子どもが好き!

「僕は、来年、福祉系の大学に進学するつもりです。その先は障がい者に関係する仕事に就きたいとも思っているのですが、やっぱり現場を見ておいた方がいいかと思っ  
てボランティア体験を選びました」。

「僕は、こんな気づきもありました。また、障がい者

ある年の事前学習会に参加した元気のいい三年生の女子にその動機を聞いてみると、こんな答えが返ってきました。  
「私はスポーツの部活動をしていたので、これまでそれ以外のことに時間が取れなかったんです。今年の七月の高総体が終わると三年生は引退することになっているので、やっと夏休みに余裕ができました。振り返ってみると高校生活の思い出は部活だけ、というのも寂しいので、何か思い出になることをしてみたい!と思ったんです」。  
また、こんな男子高校生もいます。「僕は、来年、福祉系の大学に進学するつもりです。その先は障がい者に関係する仕事に就きたいとも思っているのですが、やっぱり現場を見ておいた方がいいかと思っ  
てボランティア体験を選びました」。

んなケー  
スもあり  
ました。  
「僕は  
ひとりっ  
子なんで、  
子どもと  
一緒に遊  
びたいな  
と思っ  
て  
保育士にな  
るのかな  
と進路を考  
えていま  
した。な  
ので子ども  
も支援の  
NPOを選  
んでボラ  
ンティア  
体験をし  
ました。でも、  
実際に子ども  
と向き合  
った時、  
どうしたら  
いいかわ  
からない  
だけでなく、  
なんだか  
想像して  
いたより  
子どもと  
遊ぶこと  
が難しい  
なあと思  
じました」  
終わっ  
た今、僕  
に子ども  
は向い  
てないか  
も、と  
気  
づいた  
ので、  
進路  
は変え  
ることに  
し  
ました」。  
また、  
こんな  
気づき  
もあり  
ました。  
「僕は  
障がい者



▲図② 活動分野別の参加割合(2016)



▶障がいを持つ方々も働くパン屋「コッペ」でボランティア

が働くパンやクッキーを作る工房でボランティアしました。行く前は、障がいを持っていてる人たちがから僕はみんなにやさしくしなれば、と思いました。初めて工房に行ったとき、最初はクッキーづくりのお手伝いで、そこで働く障がい者の方からいろいろ教えてもらいました。でも、なかなかうまくできなくてモタモタしていると、横から『大丈夫、大丈夫』と声をかけられ、ゆっくり、何度でも同じことを教えてくれて。意外と自分

はできないな、とちよっぴり落ち込んだりして。その後のラッピングの時もうまくできなかったら、また『大丈夫、大丈夫』と声をかけられ、やさしく何度でも教えてくれるんです。そのようなボランティア体験を三日間して終わった帰り道、気づいたんです。やさしかったのは僕ではなく、彼らだったんです。障がいを持っているのにちゃんと仕事をしている彼らを見て、もっと働く場があったらいいのになんてないんだらうって」。この夏ボラ体験は、地域で課題に取り組むNPOの姿に触れ、何が問題なのかに気づいてもらう、そして一人でも社会にはいろんな課題があり、取り組んでいる大人がいる、ということを知って

いたために開催しています。毎回、こんな素敵な気づきを書いてくれる高校生に感動しながら十五年、続けてきました。だから今年もNPOで高校生の夏ボラ体験を開催します。

●●●●●  
**でも、今年は参加者が減っちゃうかも**  
●●●●●

今年の夏は、「みやぎ総文2017」と「南東北総体2017」が宮城県で開催されるのです。全国高等学校総合文化祭である「みやぎ総文2017」とは、芸術文化活動に取り組む全国や海外の高校生約二万人が宮城県に集い、日頃の活動の成果を発表し、技を競い、交流を深める「高校生最大の芸術文化の祭典」です。(HPより)  
また、高校生最大のスポーツの祭典である全国高等学校総合体育大会も「南東北総体2017」として宮城・山形・福島の一県を会場に開催されます。  
特に総文祭が開催される七月三十一日(月)～八月四日(金)の五日間は、多くの高校生が各会場での発表に参加することでしょう。  
そこで、今年の夏ボラ体験は、前半は体験数を減らし、八月五日からの後半に体験数を多くするプ

ログラムにします。

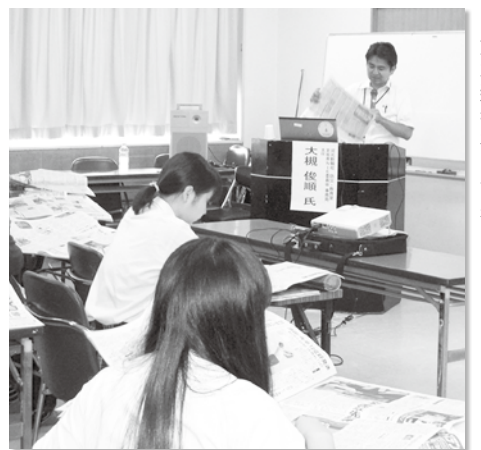
●●●●●  
**事前学習会は仙台と石巻で**  
●●●●●

ボランティア体験するには、事前学習会が必要です。それは、NPOって何だ？の疑問を解いて、体験先のNPOスタッフと対面することで不安を少なくする狙いがあります。そして自分がボランティアをすることにあたって「ボランティアで体験がより深まるからです。そして恒例になった「大学受験・就職試験にも使える！人に伝わるレポートの書き方」のレクチャーもあります。なんと新聞社のプロがコツを教えてください。



▶体験前にボランティア先のNPOと顔合わせできるのも事前学習会の魅力

▶事前学習会では河北新報社の記者からレクチャーも



今年の事前学習会は、次の三日間です。

●**仙台市**

七月十五日(土)・十六日(日)  
十三時三十分～十六時三十分  
会場：河北新報社別館

●**石巻市**

七月十七日(祝・月)  
十三時三十分～十六時三十分  
会場：三陸河北新報社かほくホール

いろいろ忙しくなる二〇一七年の夏。社会の中の自分を見つけ、新たな自分を発見しよう！

間もなく「NPOで高校生の夏ボラ体験2017」のプログラムが発表されます。詳しくは、杜の伝言板ゆるるのホームページをチェックしましょう。

<https://www.yururu.com/>

◆新入居団体紹介◆

# NPO法人東北の造形作家を支援する会 ～あらたな始まり～

## みやぎNPOプラザ

このページは、みやぎNPOプラザからのお知らせです。

みやぎNPOプラザには、NPOによる「コミュニティビジネスを支援する「常設ショップ」があります。この春入居したNPO法人東北の造形作家を支援する会(略称、SOAT)は、五月二十一日(日)、SOATのアンテナショップ「そあとの庭・みやぎNPOプラザ」をオープンしました。

### SOATとは

SOATは東北の芸術文化がより活発になることを目的に、二〇一〇年にNPO法人として設立されました。

絵画や彫刻、デザインなど美術作品を作り出すことを造形と呼びます。自ら画家として活動している理事長の藤原久美子さんは「造形作家を志し、作品を創作する作



▶SOATの藤原久美子理事長(左)と佐藤晴香さん(右)

家は大勢いますが、作品の『発表の場』には恵まれていないのが現状です」と語ります。SOATには、東北に縁のある、墨画家、ガラス工芸作家など約五十名が登録しており、作品の展示・発表の場を支援しています。

SOATは、今年三月まで、仙台市青葉区郷六でカフェとギャラリーを設け、登録作家の展示、個展を開催し、多い時には二〇〇名を超えるほどの来場がありました。

また、東日本大震災の時は、直後の四月から避難所生活で心身ともにストレスを抱えた子どもたちと絵を描いたり、閉校する小学校でモザイクアートを制作する活動「にじいろばれっと」を開始し、現在も継続しています。年代を問わず、地域の人達との交流を深め、アートで心を癒す取り組みを行っています。

「中学・高校では、国語や数学などの受験教科を重視し、美術の授業時間数が削減されています。ものづくりを生み出すには、立体的に絵を描いたり、物質を混ぜ合わせて色を作り出すなど、数学や化学と同様に美術も学ぶ価値があります。美術作品に触れることで、子どもたちの創意工夫する力を育てていきたい」と美術教育の必要性を伝えています。

### 新天地でさらなる交流活動を

残念ながら貸主の事情により、以前の拠点から移転せざるを得なくなり、新たな拠点として、プラザでショップをオープンすることになりました。プラザの来館者巻き込み、子どもから大人まで大勢の参加者でひとつの作品を作るイベントの開催や、音楽など異なる分野の団体とコラボレーションしたイベントを企画中です。「プラザでも子どもたちを対象に季節感のあるオブジェ作りで、ものづくりの楽しさを実感してもらいたい」と、藤原さんは今後の展望を話します。

店内では登録作家の絵画やオブジェの展示、オリジナルのポストカードやアクセサリー、絵本などを販売中です。「気軽にアートに触れ、心を癒せる場所にしていきたい」とスタッフの佐藤晴香さんは、意気込みを語ります。ぜひ足を運んでください。

#### Art Galleryそあとの庭・みやぎNPOプラザ店

- 営業時間 10:00～19:00(火～土) 10:00～17:00(日・祝日)
- 連絡先:080-3199-7593(SOAT携帯)
- E-mail: head@soat.jp
- URL: http://www.soat.jp/

### プラザのNPO向け講座・相談

お申込みはコチラから

【有料】  
NPOのための法律相談

6/23(金) 13:00～17:00

認定取得への第一歩!  
認定NPO法人講座

7/7(金) 14:00～16:00

### みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5  
(指定管理者:認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)

☎022-256-0505 ☎022-256-0533  
✉npo@miyagi-npo.gr.jp

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

#### みやぎNPO情報ネット

- TEL/FAX: 022-256-0511
- E-mail: info@miyagi-npo.gr.jp
- http://www.miyagi-npo.gr.jp/



## 平成29年度下期助成支援事業

- 助成対象：①文化団体等支援事業：文化団体等が宮城県内外で実施する文化芸術活動事業  
②東日本大震災被災備品整備支援事業：震災により被災し、破損又は紛失した郷土芸能器具の購入または修繕事業  
※その他文化事業に関する助成は、下記URL参照
- 対象団体：宮城県内に住所または活動の本拠を有し、文化芸術活動を主たる目的とする団体または個人  
※本助成を受けられるのは連続しているかどうかを問わず5回まで
- 助成金額：①文化芸術活動事業：自己負担額が20万円以上のもので、10万円を限度とする  
出版事業：印刷製本費に係る自己負担額が20万円以上のもので、10万円を限度とする  
②自己負担額に応じ、上限100万円
- 応募締切：6月15日(木) 17:00
- 連絡先：公益財団法人宮城県文化振興財団 企画事業課  
TEL：022-225-8641  
URL：<http://miyagi-hall.jp/foundation/support>

## ファイザープログラム 第17回新規助成

- 助成対象：中堅世代の人々(主に30～50歳代)の心とからだのヘルスケアに関する課題に取り組む市民活動および市民研究
- 対象団体：原則として2年以上の活動・研究実績を持つ民間の非営利団体(法人格の有無不問)
- 助成金額：1件あたり上限300万円(総額1,500万円)
- 応募締切：6月16日(金)必着
- 連絡先：NPO法人市民社会創造ファンド  
(ファイザープログラム事務局 武藤・坂本)  
TEL：03-5623-5055  
(祝祭日をのぞく月～金10:00～17:00)  
URL：[http://www.pfizer.co.jp/pfizer/company/philanthropy/pfizer\\_program/announce/](http://www.pfizer.co.jp/pfizer/company/philanthropy/pfizer_program/announce/)

## トヨタ環境活動助成プログラム2017年度 国内プロジェクト支援・国内小規模プロジェクト支援

- 助成対象：「生物多様性」「気候変動」をテーマに日本国内の環境課題の解決に取り組む人材育成や、実践的に環境課題解決に資するプロジェクト
- 対象団体：日本国内在住の民間非営利団体(NPO、NGO、公益法人および法人格を持たない任意団体やグループ)
- 助成金額：国内プロジェクト支援 1件あたり上限300万円  
国内小規模プロジェクト支援 1件あたり上限100万円
- 応募締切：6月23日(金)必着
- 連絡先：トヨタ環境活動助成プログラム事務局  
E-mail：[tmc-ecogrant@g500.jp](mailto:tmc-ecogrant@g500.jp)  
URL：[http://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/environment/ blessings\\_of\\_nature/ecogrant/](http://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/environment/ blessings_of_nature/ecogrant/)

## 平成29年度 青少年スポーツ振興に関する助成金(後期)

- 対象団体：青少年スポーツの振興に関する事業を積極的にを行い、奨励しまたは自ら行い、かつ3年以上継続して活動している、以下の要件を満たす団体  
①スポーツ振興を主たる目的とする社団法人または財団法人(公益・一般)  
②上記以外の団体で、所定の要件を備えるNPO法人等の団体
- 助成金額：上限100万円以内(指定期間内に予定する1つの事業予算の2分の1以内)
- 募集締切：6月30日(金) 消印有効
- 連絡先：公益財団法人ヨネックススポーツ振興財団  
TEL：03-3839-7195  
URL：<http://www.yonexsports-f.or.jp/joseikin.html>

## 平成29年度「子育てと仕事の両立支援に 対する助成活動」

- 助成対象：①休日・夜間保育事業、病児・病後児保育事業、延長保育事業、一時預かり保育事業等に必要となる設備の整備、備品の購入等に係る費用  
②放課後児童クラブの受け皿拡大や質の向上に必要な設備の整備、備品購入等に係る費用
- 対象団体：①社会福祉法人・株式会社・NPO法人等の法人格を有していること  
②市町村からの委託事業・補助事業・代行業業(指定管理者制度)等の事業形態をとっており、行政からの補助を得て、放課後児童クラブの運営を行っている事業者(法人格の有無不問)  
※詳細は下記URLをご覧ください
- 助成金額：①1施設につき上限35万円(総額700万円)  
②1施設につき上限20万円(総額700万円)
- 応募締切：6月30日(金)当日消印有効
- 連絡先：一般社団法人生命保険協会  
TEL：03-3286-2643  
URL：<http://www.seiho.or.jp/activity/social/support/guideline/>

## 平成29年度 社会福祉助成金

- 助成対象：日本国内において行う障がい児者の福祉向上を目的とする単一の事業および研究で、明確な企画(目的、内容、資金使途等)と具体的な計画に基づくもの
- 対象団体：①事業助成  
国内において3年以上の継続した活動実績がある非営利法人(社会福祉法人、NPO法人等)、任意団体、ボランティアグループ等  
②研究助成  
上記団体および日本国内の研究グループ(構成員5人以上)
- 助成金額：①事業助成は1件あたり20万円以上100万円以内  
②研究助成は1件あたり100万円以内  
※総額3,000万円予定、①②ともに助成額は事業(研究)総額の90%以内
- 応募締切：6月30日(金)当日消印有効
- 連絡先：公益財団法人みずほ福祉助成財団 事務局  
TEL：03-3596-5633  
URL：<http://mizuhofukushi.la.coocan.jp/bosyu/bosyu01.html>



## 認定取得への第一歩! 認定NPO法人講座

本講座では、認定NPO法人制度の基本をわかりやすく学ぶことができます。「認定取得=難しい」というイメージを吹き飛ばし、一緒に、認定NPO法人への第一歩を踏み出しましょう!

- 日 時：7月7日(金) 14:00～16:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 内 容：
  - ・認定NPO法人制度の概要やメリット
  - ・認定取得に必要な8要件とは?
  - ・寄付金「3,000円×100人」を集めず認定を取得する方法
  - ・節税効果大! 「みなし寄付」とは?
- 講 師：大久保朝江氏(みやぎNPOプラザ館長、認定NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事)
- 対 象：NPO法人、任意団体、これから団体を立ち上げようとしている個人など
- 定 員：20名(先着順)
- 参 加 費：800円(税込)
- 申 込 方 法：みやぎNPOプラザまで問合せ
- 主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画実施：認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連 絡 先：みやぎNPOプラザ  
TEL：022-256-0505  
E-mail：npo@miyagi-npo.gr.jp



## 7月～8月 大切な人を亡くした方のわかちあいの会 …大切な人を亡くしたとき…

大切な人を亡くした方の「わかちあいの会」を宮城県内で開催しております。病死・事故死・自死・災害等、亡くなった原因は問いません。

- 日 時：【石巻会場】7月8日(土) ※毎月第2土曜  
14:00～16:30  
【仙台会場】7月15日(土) ※毎月第3土曜  
4:00～16:30
- 場 所：【石巻会場】カリタスジャパン石巻ベース  
(石巻市末広町3-14)  
【仙台会場】あしなが育英会 仙台レインボーハウス  
(仙台市青葉区五橋2-1-15)
- 内 容：
  - ・ご遺族同士が、喪失による悲しみ、怒り、辛いお気持ちを静かに語り合える時間です
  - ・日常生活で語れなかったことをご遺族同士わかちあっていただく場所です
- 対 象：大切な方をなくされた方、どなたでもご参加いただけます
- 参 加 費：無料
- 申 込 方 法：下記連絡先にTEL・E-mailで申込み  
※事前連絡がなくても参加できます

- 主 催：NPO法人仙台グリーンケア研究会
- 連 絡 先：TEL：070-5548-2186  
E-mail：griefoffice@gmail.com  
URL：http://www.sendai-griefcare.org



## 障がい者の人権を考えるシンポジウムみやぎ 「今こそ 優生手術からの人権回復を目指して」 ～優生手術被害者は訴える～

日本には1948年から1996年まで、「優生上の見地から不良な子孫の出生を防止する」ことを目的とした「優生保護法」があり、障がいや病気を理由に、本人の同意を得ない不妊手術が行われていました。16歳のとき何も知らされないまま優生手術の被害者となった飯塚淳子さん(仮名)だけでなく、数多くいる被害者の救済のため、皆さんのご参加を呼びかけます。

- 日 時：7月8日(土) 13:30～16:10
- 場 所：仙台市福祉プラザ プラザホール  
(仙台市青葉区五橋2-12-2)
- 登 壇 者：飯塚淳子氏(仮名・優生手術被害者)  
利光恵子氏(優生手術に対する謝罪を求める会共同代表)  
新里宏二氏(飯塚さんを支援する弁護士)  
尾上浩二氏(DPI日本会議)  
杉山裕信氏(CILたすけっと)
- 内 容：基調講演「やまゆり園事件から考える優生思想と優生保護法にみる障がい者排除について(仮)」  
・飯塚淳子氏(仮名)へのインタビュー(20分)など
- 参 加 費：500円(資料代)
- 主 催：CILたすけっと
- 連 絡 先：TEL：022-248-6054 FAX：022-738-9501  
E-mail：cil-tasuketto@k6.dion.ne.jp  
URL：http://blog.canpan.info/tasuketto/



## シニア向け相談会

何かを始めたいシニアの方、あなたのチカラを地域のために活かしてみませんか!

- 日 時：7月14日(金) 13:30～16:30
- 場 所：岩沼市市民活動サポートセンター  
(岩沼市桜2-8-30 旧勤労青少年ホーム2階)
- 講 師：太田貴氏(NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター、岩沼市市民活動サポートセンター専門相談員)
- 参 加 費：無料(予約優先)
- 申 込 方 法：下記連絡先にTELで申込み
- 主 催：岩沼市市民活動サポートセンター
- 連 絡 先：〒989-2433 岩沼市桜2-8-30  
TEL：0223-35-7205 FAX：0223-35-7265

## 情報をお待ちしています

- 申込方法：問合せ先を明記の上、  
FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です!**
- 締切：毎月15日(翌月15日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 紙面の都合で掲載できない場合があります。 ○お問合せは事務局まで。  
※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

認定NPO法人杜の伝言板ゆるる  
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6  
TEL：022-791-9323 FAX：022-791-9327  
e-mail：npo@yururu.com

## みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト 「みやぎNPO情報ネット」

<http://www/miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。  
問い合わせは、[info@miyagi-npo.gr.jp](mailto:info@miyagi-npo.gr.jp)まで

前協会受付で受け付けをしてください。

- 指 導：日本キャンプ協会公認キャンプディレクター
- 対 象：キャンプについて学んでみたい方やこれからキャンプをやりたい18歳以上の方
- 定 員：先着20名(最小催行人数5名)
- 参 加 費：一般14,000円  
学生12,000円(大学生、大学院生、専門学校生)  
※別途テキスト代2,000円がかかります。
- 持ち物等：申込時にご確認ください
- 申込方法：下記連絡先に郵送、FAX、E-mailで申込み。  
申込み時、「キャンプ入門! 達人への第一歩 参加申込書」と明記し、参加者氏名(フリガナ)、性別、生年月日、住所、自宅電話番号、携帯電話番号、E-mail、交通手段(自家用車かバス)、特記事項などをお知らせください。
- 申込締切：6月13日(火)
- 主 催：一般社団法人宮城県キャンプ協会
- 連 絡 先：〒989-1503 柴田郡川崎町大字川内字向原254  
エコキャンプみちのく内  
TEL：090-5186-1217 FAX：0224-84-6601  
E-mail：miyagi@camping.or.jp  
URL：http://blog.canpan.info/cam/

## 6/24 ユニセフ国際理解講座 『ガーナ協力隊活動と東日本大震災』

.....

ガーナの子どもの命と未来を守る活動や、東日本大震災後の石巻市渡波で地域のお母さんたちの雇用を生むお弁当販売のビジネス(ワタママ食堂)につなげた活動について、お伝えします。

- 日 時：6月24日(土) 10:30～12:00
- 場 所：日立システムズホール仙台 3階エッグホール
- 講 師：菅野芳春氏(元青年海外協力隊、一般社団法人ワタママスマイル代表理事)
- 定 員：50名(要事前申込)
- 参 加 費：無料(参加券を発行します)
- 申込方法：下記連絡先にTEL、FAX、E-mailで申込み
- 主 催：宮城県ユニセフ協会
- 連 絡 先：宮城県ユニセフ協会事務局  
TEL：022-218-5358(月～金10:00～17:00)  
FAX：022-218-3663  
E-mail：sn.unicef\_miyagi@todock.jp  
URL：http://www.unicef-miyagi.gr.jp/

## 6/24 かもかも。 同性が気になるかも?みんなとちょっと違うかも?

.....

「そうかもしれないかも?」というひとたちのための交流会です。少人数でとりあえずお話をしてみようという企画です。「プライバシー」は守られます。匿名での参加も可能。話したくないことは話さなくても大丈夫です。LGBTって聞いたことあるけど、自分がそうかどうかわからない...、同性が気になるけど、テレビで見るオネエと自分は違うと思う...、ゲイバーやLGBTの集まりって、どっぷり浸かっている人が多そう...という方も、ぜひどうぞ。「そうかも?」と気になっている方なら年齢性別にかかわらず、どなたでも参加できます。

- 日 時：6月24日(土) 16:00～17:00
- 会 場：community center ZEL  
(仙台市青葉区国分町3-3-5 リスズビル9階)
- 参 加 費：無料(ソフトドリンク付)
- 主 催：community center ZEL

- 連 絡 先：事務局 TEL：022-261-6556  
E-mail：sendai865@yahoo.co.jp  
URL：http://sendai865.web.fc2.com/zet.htm

## 6/25 グローバル化が進む中で、地域の教育はどうあればよいか

- .....
- 日 時：6月25日(日) 10:15～11:15
  - 場 所：石巻市向陽地区コミュニティセンター  
(石巻市向陽町4-9-11)
  - 内 容：基調講演「グローバル教育は、在り方・生き方教育」～二華中高生の活躍から～  
講演者：山内明樹氏(仙台二華中高校長)  
ワークショップ「地域の教育はどうあればよいか」
  - 対 象：子育て中の親子、関心のある方ならどなたでも
  - 定 員：100名
  - 参 加 費：1000円(軽食つき)当日券あり
  - 申込方法：下記連絡先に申込み
  - 主 催：放課後こどもクラブBremen
  - 連 絡 先：TEL：0225-98-3095(賓)

## 6/29 傾聴ボランティア 公開講座「震災から6年の心のケア」

- .....
- 日 時：6月29日(木) 13:30～15:30
  - 場 所：仙台市福祉プラザ 1階プラザホール
  - 講 師：山崎剛氏(みやぎ心のケアセンター副センター長)
  - 定 員：100名
  - 参 加 費：500円(資料代)
  - 申込方法：申込不要、直接会場にお越しください
  - 主 催：NPO法人仙台傾聴の会
  - 連 絡 先：TEL：090-6253-5640 FAX：022-343-9705  
E-mail：moriyama-e@tulip.sannet.ne.jp  
URL：http://sendai-keicho.sakura.ne.jp/wp/

## 7/2 第14回さい帯血バンクサポート宮城 「親と子のふれあいコンサート」

.....

さい帯血がお母さんと赤ちゃんを結ぶ絆であることから、第1回から親子で楽しみながら質の高い音楽に親しんでもらうことをコンセプトとしてきました。今回も、馴染みあるクラシック曲を中心とした演奏に、出演者によるトークを織り交ぜた内容となっています。

- 日 時：7月2日(日)14:00開演(13:30開場)
- 場 所：仙台市太白区文化センター 楽楽楽ホール
- 参 加 費：全席自由 シングル券2,000円(当日2,500円)、ペア券3,000円(前売りのみ)  
※3歳以下で座席を使われないお子様は無料
- 内 容：クラシックコンサートとトークショー など
- 出 演：柴生田桂子氏(バイオリン)、戸田敦氏(フルート)、中川賢一氏(ピアノ)、中村優子氏(ソプラノ)
- 申込方法：チケット取扱：藤崎、ヤマハミュージックリテイリング仙台、カワイミュージックショップ仙台店、横田や、こどものほんのみせポラン
- 主 催：NPO法人さい帯血バンクサポート宮城
- 連 絡 先：TEL/FAX：022-342-7425  
(平日10:00～16:00 担当：長田恵美)  
E-mail：miyagicb@gmail.com  
URL：http://www.k5.dion.ne.jp/~miyagicb/

紺野昌代氏(多機能型重症児デイサービスkokoro  
代表理事、看護師)

- 内 容：・メインシンポジウム 仙台市における重症児支援  
・白書を読む(前半)お母さんの現状・国の政策  
・白書を読む(後半)放課後デイサービスの作り方 など
- 対 象：重症児支援に興味のある方全般
- 定 員：300名
- 参 加 費：無料
- 託 児：重心のお子様を対象に託児予定。申込時にスペ  
シャルニーズ等をお知らせください。
- 申込方法：下記連絡先にTEL、FAXで申込み。申込み時、  
お名前、所属、参加人数、電話番号、E-mail (お  
有りの方)をお知らせください。  
申込フォーム([http://ainomi.com/?page\\_id=5798](http://ainomi.com/?page_id=5798))からも可能です。
- 主 催：特例認定NPO法人あいの実
- 連 絡 先：TEL：022-346-1730  
(9:00～17:00 担当：山田)  
FAX：022-346-1731  
URL：http://ainomi.com/?page\_id=5798

## 6/18 てつがくカフェ第61回 いま、「選ぶこと」の意味を問い直す

東日本大震災から、今年で7年目を迎えます。この6年数ヶ月という年月は、わたしたちがどこで、誰と、またどのように生きていくのかという〈選択〉にそのつどさらされ続けてきた期間と言えるでしょう。今回の「てつがくカフェ」では、何かを「選ぶこと」(選んできたこと)の意味について問い直してみたいと思います。

- 日 時：6月18日(日) 15:00～17:30
- 場 所：せんだいメディアテーク 7階スタジオa  
(仙台市青葉区春日町2-1)
- ファシリテーター：西村高宏氏(てつがくカフェ@せんだい)
- ファシリテーショングラフィック：近田真美子氏(てつがくカフェ@せんだい)
- 参 加 費：無料
- 申込方法：申込不要、直接会場へ
- 主 催：てつがくカフェ@せんだい  
せんだいメディアテーク
- 連 絡 先：てつがくカフェ@せんだい(担当：西村)  
E-mail：mmp0861@gmail.com  
URL：http://table.smt.jp/?p=13618

## 6/18 「女性の視点」で震災を伝える ～アーカイブの意義とその取り組み～

震災から6年、震災の風化が危惧される中、より一層アーカイブの重要性が強調されています。特に、防災・復興に女性の視点が不可欠であることが指摘されており、それらの記録・資料を通して、改めて真の復興のあり方を探ります。

- 日 時：6月18日(日) 13:30～16:00
- 場 所：エル・パーク仙台 創作アトリエ  
(仙台三越定禅寺通り館5階)
- 講 師：青木玲子氏(独立行政法人国立女性教育会館情報課客員研究員)
- 定 員：20名(先着順)
- 参 加 費：無料
- 申込方法：下記連絡先にTEL、FAX、E-mailで申込み
- 申込締切：6月12日(月)
- 主 催：NPO法人イコールネット仙台

- 連 絡 先：TEL：090-1398-5065(担当：佐藤)  
FAX：022-271-8226  
E-mail：emuna@ve.cat-v.ne.jp

## 6/18 共育を考える会30周年企画 山田真氏 講演会「障害のある人と地域の中で育ち生きる」

共育を考える会も結成されてから30年が過ぎました。障害のある人も地域で共に生きる教育と社会の実現に向け、皆さんと共に考えたいと思います。ご参加をお待ちしております。

- 日 時：6月18日(日) 13:30～16:00
- 場 所：仙台市市民会館 第2会議室  
(仙台市青葉区桜ヶ岡公園4-1)
- 講 師：山田真氏(障害児を普通学校へ・全国連絡会世話人・八王子保育・教育を考える会代表、子どもたちを放射能から守る全国小児科医ネットワーク代表)
- 参 加 費：500円(資料代)
- 申込方法：下記連絡先にTEL、FAX、E-mailで申込み
- 主 催：共育を考える会
- 連 絡 先：仙台市宮城野区松岡町17-1 コッペ内  
TEL/FAX：022-299-1279(担当：飯嶋)  
E-mail：muginokai@k5.dion.ne.jp

## 6/22 おはなしクローバーのお話会とブックトーク

子どもと本の橋渡しを目的にストーリーテリング(素話)やブックトークの勉強会、出張おはなし会等を行っているボランティアグループです。

- 日 時：6月22日(木) 10:00～12:20(受付9:30～)
- 場 所：エル・ソーラ仙台 大研修室  
(仙台市青葉区中央1-3-1 アエル28階)
- 内 容：〈ストーリーテリングの部 10:00～11:30〉  
にじのお城(インドネシア)、たにし長者(日本)、  
鳥になりたかったこぐまの話(創作)、火の鳥と  
王女ワシリーサ(ロシア)他  
〈ブックトークの部 11:45～12:20〉  
テーマ：「道はつづくよ、先へ先へ」と  
大人が楽しめる本を紹介します
- 対 象：大人
- 定 員：50名
- 参 加 費：700円
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAXで申込み(要事前申込)
- 主 催：おはなしクローバー
- 連 絡 先：TEL/FAX：022-379-4670(担当：廣瀬)

## 6/24 キャンプインストラクター養成講習会 キャンプ入門!達人への第一歩

実際にキャンプを行い、自然体験活動を行う際に必要となる知識やスキル、安全管理のポイントなどを学んでいきます。2日間の全課程を修了し、試験に合格した方は、半日程度の指導実習を経て、公益社団法人日本キャンプ協会公認キャンプインストラクター資格を取得できます。資格や講習会については、事務局に気軽にお問合せください。

- 日 時：6月24日(土) 10:00～6月25日(日) 16:00  
※宿泊はテント泊になります。
- 場 所：国営みちのく杜の湖畔公園 エコキャンプみちのく  
※6月24日9:30～10:00の間に管理センター

## 6/16 プロが教えるより効果的な 情報発信のためのワークスタジオ

プロのクリエイターから直接学べる、情報発信をめざすあなたのための講座です！

- 日 時：①6月16日(金) 18:00～20:00  
②6月17日(土) 13:30～15:30  
③6月20日(火) 18:30～20:30  
④6月21日(水) 19:00～21:00  
⑤6月24日(土) 13:30～15:30
- 場 所：メディアデザイン・ワークスタジオ  
(仙台市青葉区木町通1-1-11 朝日プラザ北一番庁1F)
- 内 容：①もっと良くなるそのチラシ、パンフレットの基本を知って訴求力UP！  
講師：真山正太(グラフィックデザイナー)  
②みんなで考えるアイデアワーク～イベント～  
講師：鉄本由美(アイデア・ナビゲーター)  
③PowerPointでイラストを描こう  
講師：伊東利光(メディアクリエイター)  
④デジタルカメラレベルアップ教室  
講師：庄子隆(フォトグラファー)  
⑤届く♪伝わる♪文章教室  
講師：大泉浩一(ライター・編集者)
- 定 員：各講座5名(申込先着順)
- 参 加 費：各講座2,000円(当日会場にて支払い)
- 申込方法：下記URLから申込フォームにて  
URL：<http://mediadesign.jp/workstudio-4/>
- 主 催：一般社団法人メディアデザイン
- 連 絡 先：TEL：090-3049-0613(担当：千葉)  
E-mail：kouza@mediadesign.jp

## 6/16 地球市民講座2017 受講生募集！

次世代を担うおおむね18～35歳の方を対象に、地球に暮らす一員として、私たちの身近な事柄から地球規模の課題まで幅広く考える講座です。ワークショップ体験や留学生との交流などを通じて、より良い社会づくりのために私たちができることを一緒に考えてみませんか？

- 日 時：①6月16日(金) 18:30～20:30  
②7月1日(土) 13:30～16:30
- 場 所：地下鉄東西線 国際センター駅2階
- 内 容：①第2回 ネパール・ベトナムについて知ろう  
両国出身の方たちの話を聞き、交流しながら、ネパールとベトナムについて理解を深めましょう。  
②第3回 ワークショップ「読めないお知らせ」

日本に来たばかりの外国人の立場を疑似体験し、どのような配慮が必要なのかを考え、誰にでも伝わる「やさしい日本語」を学びます。

- 対 象：仙台市内にお住まいか通勤・通学中の18～35歳位の方
- 定 員：各回20名程度(先着順)  
※外国人留学生も参加予定
- 申込方法：下記連絡先にTEL、FAX、E-mailで申込み  
申込み時、参加希望講座名、名前、年齢、TELまたはE-mailをお知らせください
- 主 催：公益財団法人仙台観光国際協会(SenTIA)
- 連 絡 先：TEL：022-268-6260(担当：鶴巻)  
FAX：022-268-6252  
E-mail：s-tsurumaki@sentai-sendai.jp  
URL：<http://www.sentia-sendai.jp/>

## 6/17 介護の“お悩み持ち寄り相談会” 仙台市内の“つどい”

“つどい”は知恵の宝庫、参加して話すことから始めよう。

- 日 時：6月17日(土) 13:00～15:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ
- 内 容：介護家族の話し合い、語り合い
- 対 象：会員資格を問わず、どなたでも参加できます
- 参 加 費：100円(事前申込不要)
- 主 催：公益社団法人認知症の人と家族の会宮城県支部
- 連 絡 先：TEL/FAX：022-263-5091  
(相談日：月～金 9:00～16:00・祝休日は除く)  
URL：<http://www.miyagisibu-anz.org/>

## 6/17 全国重症児デイネット 東日本ブロックシンポジウムin仙台

東北地方は空白地帯とも言える状況で、一刻も早く支援の手を差し伸べる必要があります。どうやったらデイサービスを立ち上げることができるのか。どう支援したらいいのか。どのように重症児と向き合っていくかを考えます。

- 日 時：6月17日(土) 13:30～(開場12:30)
- 場 所：仙台国際センター 展示棟会議室1・2  
(仙台市青葉区青葉山無番地)
- ゲ ス ト：田中総一郎氏(あおぞら診療所ほっこり仙台院長)  
遠山裕湖氏(社会福祉法人なのはな会理学療法士)  
千葉伸彦氏(東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科講師)  
鈴木由夫氏(一般社団法人 全国重症児デイサービス・ネットワーク代表理事)

## 縦 覧 中

●縦覧中の団体の申請書類はこちらから確認できます

- 宮城県 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/seturitu-zyuran.html>
- 仙台市 [http://www.city.sendai.jp/d01/1202909\\_1433.html](http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html)

## !! 仙台市における認証手続きの変更について

国家戦略特別区域法第24条の4の規定により、仙台市では特定非営利活動促進法の特例が適用され、仙台市が所管するNPO法人の認証申請(設立、定款変更、合併)における申請書類の縦覧期間が、2カ月から2週間に短縮される等、認証手続きが変更になりました。仙台市は、縦覧期間中の申請書類をホームページで公表します。右記のURLからご確認ください。 ■[http://www.city.sendai.jp/d01/1202909\\_1433.html](http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html)

NPO法人の設立を新しく申請した団体		宮城県等所轄分4月11日～5月10日 仙台市所轄分4月11日～5月10日	
団体名	所在地	活動内容	受理日
宮城県等 花信風	大和町	障害者が地域で自立した生活を営んでいくために必要な事業を行うもの。	5/1
ふるたいむ	柴田町	障害児・障害者等を対象とした放課後等デイサービス事業や日中一時支援事業。	5/8

## 宮城県のNPO法人数

# 807 団体

※2017年5月10日現在

- 宮城県等所轄：396団体 ●仙台市所轄：411団体

## 6/1 はたらくをサポートする講座「心を整える」 ～メンタル術編～参加者募集

「職場の人とうまくいかない…」 「どうしてみんな、わかってくれないんだろう」 「もっと気持ちを楽に働けないのかな」 等々、様々な悩みをもって働いている皆さん！ぜひ、お集まりください。講座は1時間。残りの1時間は、ゆる～く、明るく「お疲れ様共有」をしませんか？

- 日 時：【仙台開催】(すべて木曜日の18:30～20:30)  
①6月1日、②6月15日、③6月29日、  
④7月13日、⑤7月27日  
【石巻開催】(すべて金曜日の18:30～20:30)  
①6月9日、②6月23日、③7月7日、  
④7月21日、⑤8月4日
- 場 所：【仙台開催】  
認定NPO法人Switch事務所  
(仙台市宮城野区榴岡1-6-3 東口鳳月ビル602)  
【石巻開催】  
石巻NOTE  
(石巻市鑄銭場8-23 日和ビル3階-A)
- 内 容：【仙台・石巻共通】  
①第1回 考え方には、クセがある！  
②第2回 ヤル気はコントロールできる  
③第3回 つらい時の行動の変え方  
④第4回 イラッとした時の上手な対応  
⑤第5回 1人でできる、問題解決
- 対 象：在職者の方で、以下の①②どちらかに当てはまる方  
①39歳位までの方で、働く悩みがある方、  
セルフ・メンテナンスを取り入れたい方  
②従業員のメンタルヘルスマネジメントに携わる方や、  
支える立場にいる方  
(②の方も、1人の在職者として参加)
- 定 員：15名(仙台・石巻とも)
- 参 加 費：無料
- 主 催：認定NPO法人Switch
- 連 絡 先：はたサポ担当(小野)  
TEL：022-762-5851  
E-mail：info@np-switch.org  
URL：http://switch-sendai.org

## 6/15 nisipirica hiimo (にしぴりか ひい～も)展示会

hiimoは紐の造語で、nisipiricaで織り上げた細い織りをメインに展示します。細い織りにも作者それぞれの感性が生き

づいて、表現の多様さを感じていただけたと思います。紐は、タペストリーやストールなど様々な使い方ができます。細かい織り以外にも織りの製品も並びます。

- 日 時：6月15日(木)～6月19日(月) 11:00～17:00  
(最終日は16:00まで)
- 場 所：チフリグリ(仙台市宮城野区五輪1-11-12)
- 主 催：nisipirica、NPO法人黒川こころの応援団
- 連 絡 先：TEL：070-5546-8669  
E-mail：info@nisipirica.com  
URL：http://m-kissa.com

## 6/15 本人・若年期認知症の方の集い

本人・若年期認知症の方を中心に楽しんでいただける企画を用意した集いを行っております。

- 日 時：6月15日(木) 10:30～15:00
- 場 所：仙台市泉区南光台市民センター  
(仙台市泉区南光台7-1-30)
- 対 象：若年期認知症の方。詳細はご相談ください  
※見学自由
- 参 加 費：無料 ※昼食代500円程度
- 申 込 方 法：下記連絡先にTELで問合せ
- 主 催：公益社団法人認知症の人と家族の会宮城県支部
- 連 絡 先：TEL/FAX：022-263-5091  
(相談日：月～金 9:00～16:00、祝休日は除く)  
URL：http://www.miyagisibu-alz.org/

## 6/16 市民活動お役立ちシリーズ ～いつもと違った会議を考えてみよう～

町内会や市民活動等の会議で、段取りの方法や工夫していることを持ち寄り、聞いて、真似して、参考にしよう！会議導入の方法(アイスブレイクなど)や小道具の取り入れ方など、アイデアが欲しい人の参加もOKです！

- 日 時：6月16日(金) 13:30～15:30
- 場 所：旧勤労青年少年ホーム 1階集会室  
(岩沼市桜2-8-30)
- 講 師：大田貴氏(NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター、  
岩沼市市民活動サポートセンター専門相談員)
- 申 込 方 法：下記連絡先にTELで申込み
- 主 催：岩沼市市民活動サポートセンター
- 連 絡 先：TEL：0223-35-7205 FAX：0223-35-7265

## 会 員 募 集

社の伝言板ゆるるは「地域の課題を自分たちで解決しよう!」と取り組む市民活動団体をサポートするとともに、市民のみなさんが市民活動やボランティアに興味を持ち、参加しやすい環境づくりを進めています。活動の柱となる月刊誌は、20年を超えて毎月欠かさず発行してきました。これもみなさまの温かいご支援のおかげです。

これからも安心して暮らせる地域づくりのために、多様な情報発信と支援活動を続けていきますので、ぜひ会員として支えてください!

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	ー□ 3,000円
賛助会員NPO	ー□ 5,000円
賛助会員企業・団体	ー□ 20,000円

※正会員以外は、総会での議決権がありません。

### 郵便振替口座

口座番号 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人  
社の伝言板ゆるる

会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。

# information

5月15日までにゆるる編集部へ届いた情報です。  
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

## ボランティア情報

### 一緒に活動しませんか？有償ボランティア急募！！

ご高齢者へのお弁当をお届けするお弁当づくり・配達・運転ボランティアを募集しています。あかねグループはいつまでも住み慣れた地域で暮らし続けるために、支え合いの活動をしています。あなたにできる事をあかねで見つけませんか？

- 活動日時：①お弁当作り 9:00～18:00  
②配達・運転ボランティア  
月曜～日曜 11:00～12:30  
月曜～土曜 16:00～17:30
- 活動地域：若林区を中心に、宮城野区、青葉区の一部
- 申込方法：下記連絡先にTELで申込み
- 応募主体：認定NPO法人あかねグループ
- 連絡先：TEL：022-285-0945(担当：清水)  
URL：https://npo-akane-group.jimdo.com/

### 小学生に寄り添い、学び遊ぶボランティア募集！

STORIAは、経済的困難を抱えた小学生を対象に、安心安全な「放課後の居場所」を運営し、学習支援・食育・体験プログラムを行っています。子どもたちが自信を持ち、可能性を伸ばせるよう、ともに学び遊び、気持ちに寄り添ってくださる方を募集しています！

- 活動日時：火曜、金曜 16:00～22:30  
月1回(主に日曜日) 10:00～14:00で体験プログラムを実施しています  
※時間や参加回数をご相談ください
- 活動場所：仙台市宮城野区内
- 活動内容：小学生の遊び相手・話し相手、勉強(宿題)のお手伝いなど(ご希望の活動内容をお選びください)
- 対象：学生～シニアの方、子どもの自主性を大切に、温かく見守って下さる方  
※3か月以上継続可能な方
- 研修：事前研修やスキルアップ研修を設けています
- 申込方法：下記連絡先までE-mailまたはTELで申込み
- 応募主体：NPO法人STORIA
- 連絡先：TEL：080-9637-4339  
(月～金 10:00～18:00 担当：松井)  
E-mail：matsui@storia.or.jp  
URL：http://www.storia.or.jp/

### 野菜を車で運んで下さるボランティア募集！

STORIAは、経済的困難を抱えた小学生を対象に、安心・安全な「放課後の居場所」を運営しています。子どもたちの楽しみのひとつは、やはりおいしい夜ごはん。いつも支援して下さる農園様からお野菜を活動拠点まで運んで下さる方を、募集しています。

- 活動日時：火曜 15:00～16:00

- 活動場所：仙台市宮城野区内
- 活動内容：野菜の提供をして下さる農園様(宮城野区蒲生)から、野菜を活動拠点まで車で運んで頂くお仕事です。農園から活動拠点までは、車で20分弱です。運んでいただくものは、主にトマトや青菜野菜を1～2バットです(女性の方でも運べる重さです)
- 対象：ご自分のお車で運んでいただける方、3か月以上続けてくださる方、を優先させていただきます
- 申込方法：下記連絡先までE-mailまたはTELで申込み
- 応募主体：NPO法人STORIA
- 連絡先：TEL：080-9637-4339  
(月～金 10:00～18:00 担当：松井)  
E-mail：matsui@storia.or.jp  
URL：http://www.storia.or.jp/

### 志誠塾『おおさき寺子屋』

### シニア・大学生・短大生・専門学校生の 運営スタッフおよびサポーター募集

昨年より経済的に恵まれなく学ぶ意欲はもってはいらぬものの機会がない小5～中学生を対象とした学び直し「志誠塾『おおさき寺子屋』」を開設しています。私たちと一緒に運営スタッフや子どもに寄り添い支えるサポーターとして「学習支援・居場所づくり」に参画しませんか。

- 活動期間：2017年5月～2018年3月
- 活動日時：日曜9:00～12:00および木曜夜間18:00～21:00の間の2.5時間程度(曜日は応相談)  
※運営スタッフは曜日・時間は要相談
- 活動場所：大崎市古川駅前大通り
- 定員：シニア・大学生・短大生・専門学校生10名程度
- 役割：志誠塾「おおさき寺子屋」の運営に関わる業務・小中学生へのサポート  
※事前の説明会・研修  
大崎市市民活動サポートセンター(古川駅前ふるさとプラザ)にて後日連絡
- 条件：・Synapse40の理念に共感していること  
・継続参加できること
- 申込方法：次の項目を記入の上、下記連絡先にE-mailで申込み  
件名を「志誠塾『おおさき寺子屋』の運営スタッフ及びサポーター参加を希望します」とし、お名前(ふりがな)、職業、大学名・学部・学科・学年、E-mail、連絡のつく電話番号、参加動機、参加希望内容(運営スタッフもしくはサポーター)、参加可能な活動(日曜日可・否、木曜日可・否)をお知らせください
- 応募主体：NPO法人Synapse40
- 連絡先：TEL：090-1399-1155 FAX：0229-22-2886  
E-mail：synapsemail40@gmail.com  
URL：https://www.facebook.com/synapse40



東北ろうきん

# サマーキャンペーン 2017

キャンペーン期間

6/1(木) ~ 7/31(月)

campaign #1  
店頭表示金利に金利上乘せ

## 年0.10%

もれなく  
もらえる

対象取引のいずれかを  
ご利用いただいた方 全員に

NEWクレラップ  
プレゼント!



新規で5万円以上の定期預金(1年もの)を  
お預入れの方は店頭表示金利に年0.10%を  
上乘せします。

- ※「新規預入れ」のみ、「増額預入れ」は対象外です。
- ※個人のお客様が対象となります。
- ※「ふれ愛預金」「特別金利定期預金」等、一部対象外となる預金があります。
- ※窓口での預入れに限ります。※上乘せ金利は、「初回満期日」までとなります。

抽選で  
もらえる

対象取引をご利用  
いただいた方の中から  
抽選で1,200名様に



東北復興支援  
5,000円相当の  
オリジナル  
カタログギフトを  
プレゼント!

※画像はイメージです。カタログは実際  
のものとは異なる場合がございます。



対象商品の詳しい内容やプレゼントの対象取引等については、お近くのろうきん窓口またはキャンペーンサイトにてご確認ください。

[www.tohoku-rokin.or.jp/campaign/2017summer\\_pc.html](http://www.tohoku-rokin.or.jp/campaign/2017summer_pc.html)



スマホは  
こちら



2017年6月1日現在

生活応援バンク  
ろうきん 東北労働金庫

☎0120-1919-62

【受付時間】平日午前9時~午後5時

<http://www.tohoku-rokin.or.jp>

みなさんのご寄付が、  
地域を元気にする  
力になります

子育て、少子高齢化、障がい支援、過疎化、  
環境問題、震災復興...

杜の伝言板ゆるるは、地域が抱える課題を自分たちで解決していこう!と取り組む市民活動をサポートしています。私たちがより安心して暮らせるまち、住みよい地域を次世代に継ぐために、これからもさまざまな情報発信と支援活動を続けていきます。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

市民の力による市民活動を応援するための情報誌

月刊杜の伝言板ゆるる

の発行を応援してください!

1997年の創刊から毎月欠かさず発行している、宮城県内の市民活動やボランティアを応援する月刊情報誌です。市民活動に踏み出すきっかけとなる、さまざまな情報をこれからも発信していきます。

次世代を担う高校生のボランティア体験プログラム

15周年 NPOで高校生の夏ボラ体験

の継続にご協力ください!

未来を創っていく高校生が、地元のNPOでボランティア体験をする機会を提供しています。いろいろな分野の人と出会い、関わりながら市民活動への理解を深め、貴重な経験を糧に地域を担う一員として活躍してくれることが願いです。

【認定NPO法人】である当法人へのご寄付(賛助会員の会費含む※)は、税制上の優遇措置(寄付控除)の対象です(詳しくは、お近くの税務署や税務相談室までお問合せください)

お振込み先

【郵便振込口座】02250-0-43800

【加入者名】特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

※賛助会員については、P14会員募集をご覧ください